

富士市につくろう

こどもの国を！

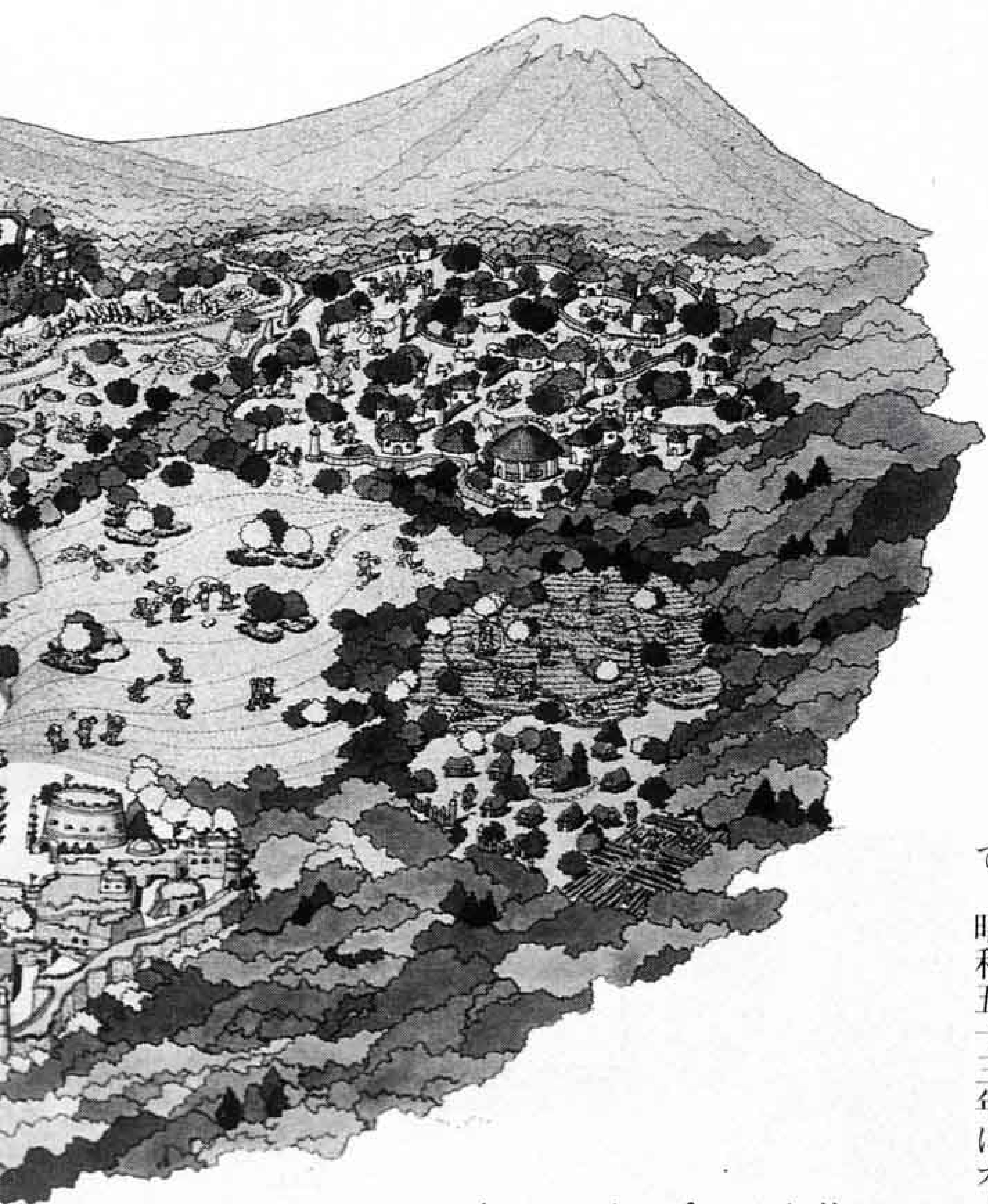
県を代表する

富士山のふもとに

こどもの国は、「子供たちが雄大な自然の中で、友達や家族と元気に伸び伸びと遊ぶことで、生命のとうとさや自然の厳しさを学び、夢や冒険心をはぐくむ施設」として、県が計画をしています。どこにつくるかまだ決まっていますが、現在、富士市、沼津市、庵原三町が名のりを上げています。静岡県を代表するのはなんとと言っても富士山。ぜひ本市につくってもらおうよう陳情をしています。

「富士市につくろう、こどもの国を！」

こどもの国についてのご意見・問い合わせは
政策推進室へ 内線2831



左のモデルプランを基に静岡県が描いた子供の国のイメージ図。面積は100～200ヘクタールを予定

こどもの国の例を紹介します

まず、こどもの国のイメージを知っていたくために、二つの施設の概要をお知らせします。

中央(横浜)こどもの国

全国に先駆け昭和四十年にオープンしました。三方を小高い山に囲まれ、面積は百餘(三十三万坪)です。

主な施設は、牛やポニーのいる牧場、こども動物園、キャンプ場、スケート場、プール、湖、大きな芝生広場などがあります。

北海道こどもの国

小高い山をそのまま一つ、森林を生かしてこどもの国にしました。面積は二百三十七餘(七十二万坪)で、昭和五十三年にオープンしま

した。

主な施設は、少年自然の家、レストハウス、SLホテル、畜舎ミルクプラント、歩くスキーコース、野鳥の森、冒険広場などがあります。

県は今年度中に

建設地を決定

県が「こどもの国」について考え始めたのは、平成元年度のこと。そして二年度には横浜など他県の事例、県内の子供たちの遊び環境など五項目の基礎調査を行いました。またこの調査を基に基本方針や規模などを含む基本構想(案)をつくるとともに、本市を含む候補地の調査も進めています。

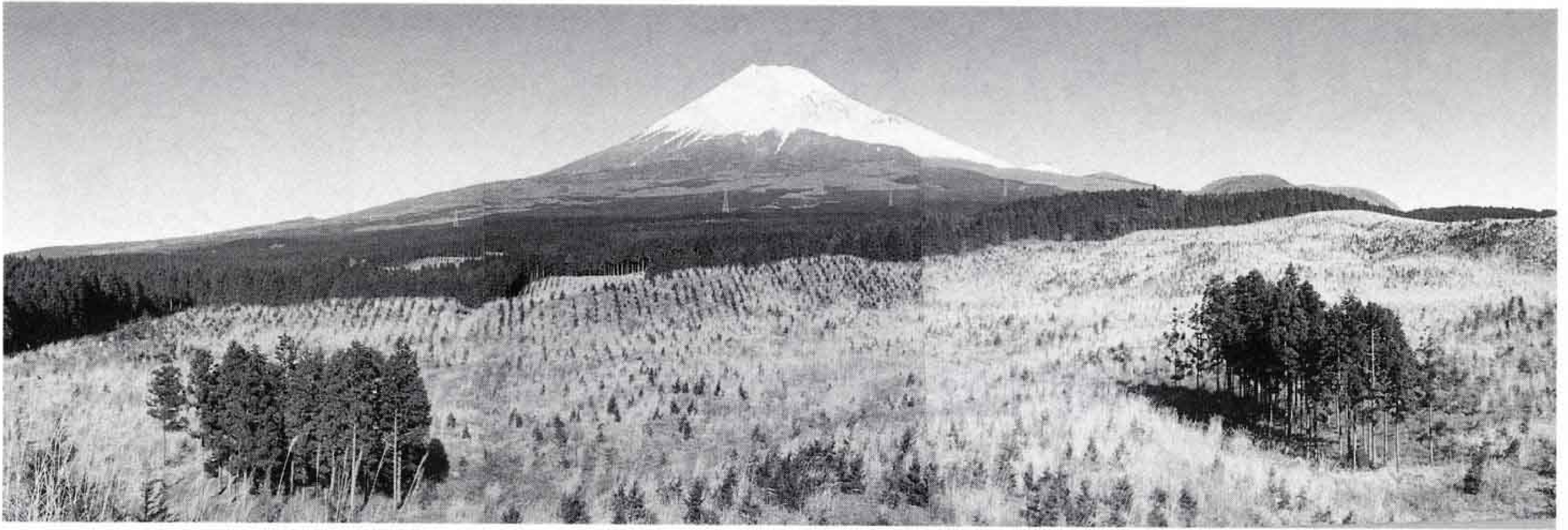
さらに今年度中にこどもの国の内容となる基本構想をつくり、建設地も決定することになっています。

市は富士・愛鷹山麓が

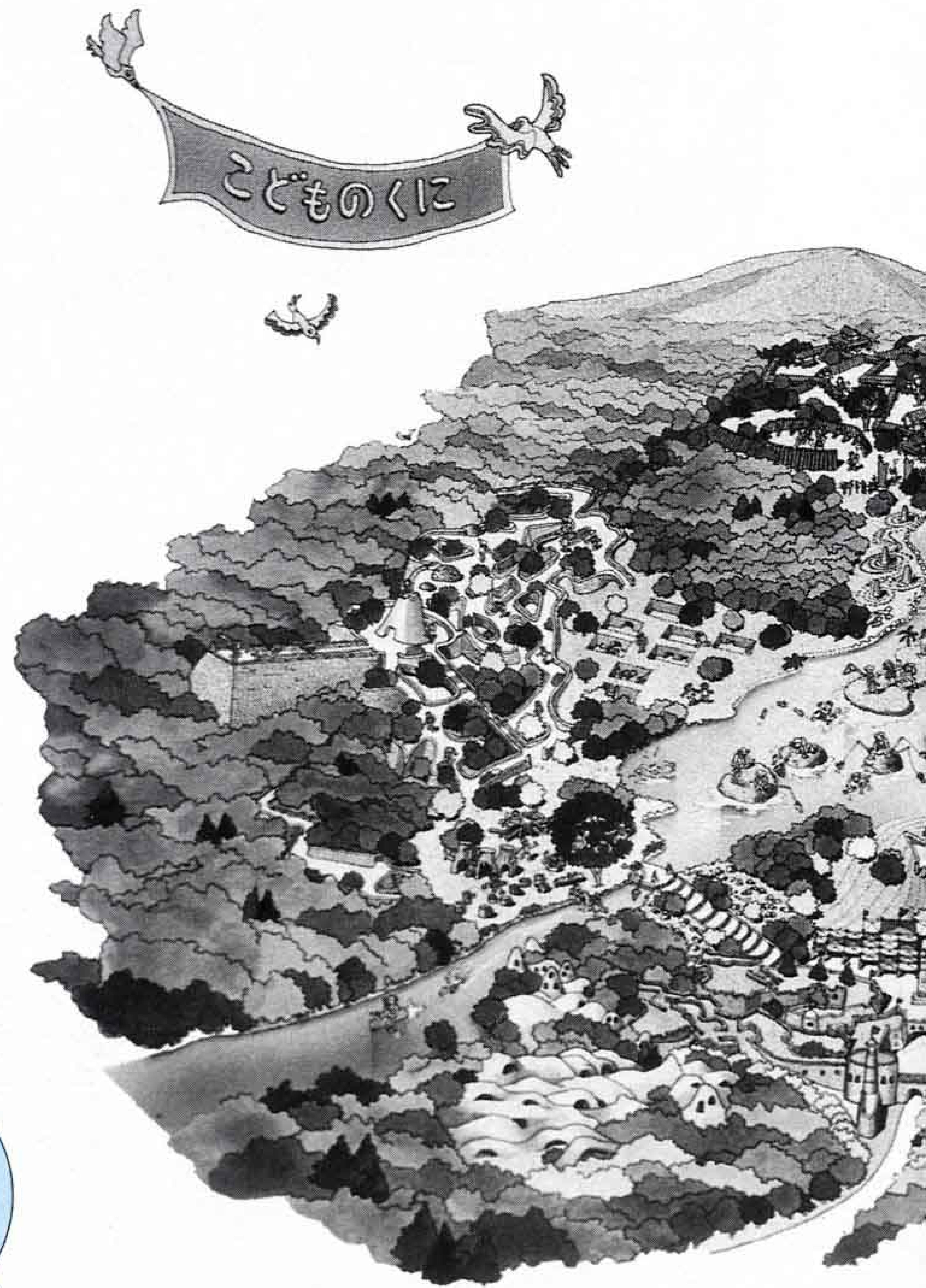
最適と県に要請

市はこどもの国が、自然を生かした施設であり、未来を託す子供たちのためにどうしても必要との判断から、平成二年十月、他都市に先がけて県知事に誘致を要請しました。その後、数回の誘致要請を経て、「富士・愛鷹山麓が最適」と、候補地の概要書も提出してあります。

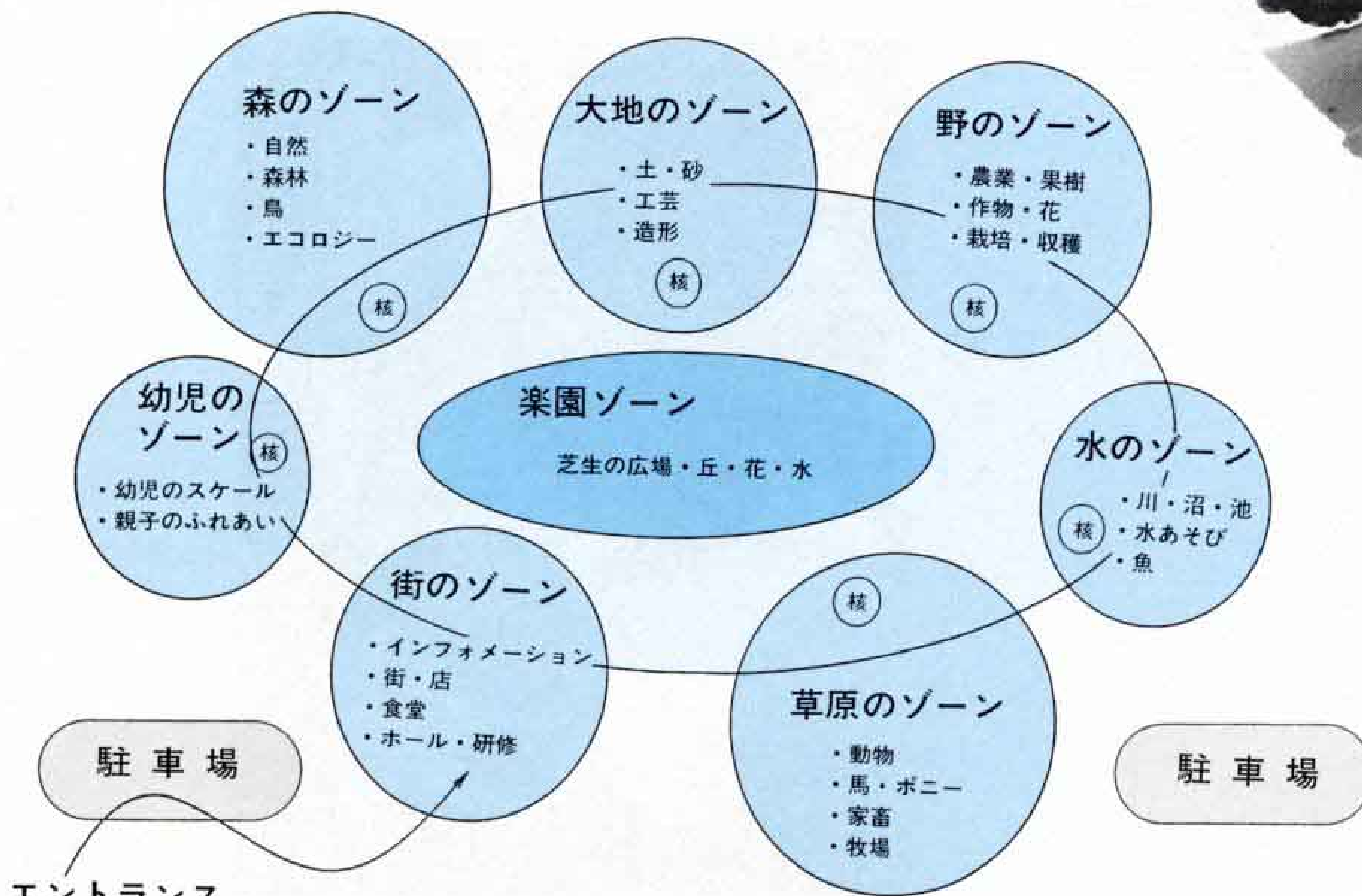
そしてことしの八月二十七日に、百二十の市民団体が参加した「こどもの国を誘致する富士市民の会」が発足し、現在に至っています。



△建設候補地（勢子辻地先）の中心部からの眺望



☆県のこどもの国モデルプラン☆



(自然の構成要素の「森、水、大地」など7つのテーマのゾーンでつくられています : 静岡県作成)

ご意見を
お寄せください

こどもの国は、多くの人々に利用されるような魅力ある施設として、また日本の富士山にふさわしい施設としなければなりません。そこで、多くの市民の皆さんのご意見をお待ちしています。